

令和2年度病害虫発生予察指導情報

(果樹類・クサギカメムシ)

令和2年12月24日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

(1) ベニヤ板トラップ調査によると、クサギカメムシの越冬成虫数は、トラップあたり5.3頭と前年並(7.2頭)であった。

表1 ベニヤ板トラップ調査*によるクサギカメムシの越冬量

| 調査地点 | H26年 | H27年 | H28年 | H29年 | H30年 | R1年 | R2年 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|
| 鳥取市河原町 | 0 | 9.5 | 19.5 | 25.0 | 29.0 | 24.5 | 8.0 |
| 鳥取市佐治町 | 0.5 | 0 | 0 | 9.5 | 6.5 | 5.5 | 9.0 |
| 八頭町** | 0 | 0 | 6.0 | 3.5 | 9.0 | 8.5 | 3.0 |
| 倉吉市関金町** | 0 | 0 | 2.0 | 1.0 | 2.5 | 0.5 | 1.0 |
| 倉吉市 | | | | 9.0 | 54.0 | 10.5 | 12.5 |
| 湯梨浜町 | 1.0 | 2.5 | 6.5 | 3.0 | 7.5 | 11.0 | 7.5 |
| 北栄町 | 1.0 | 0 | 2.0 | 0.5 | 1.0 | 0.5 | 1.0 |
| 琴浦町** | 0 | 0 | 10.0 | 5.0 | 17.0 | 8.0 | 7.0 |
| 大山町 | 0.5 | 1.5 | 0.5 | 7.0 | 4.0 | 0.5 | 3.0 |
| 南部町 | 0.5 | 1.0 | 5.0 | 3.0 | 10.5 | 2.0 | 0.5 |
| 平均 | 0.6 | 2.4 | 5.6 | 6.7 | 14.1 | 7.2 | 5.3 |

* 表中の数字は、トラップあたりの成虫数を示す。設置数は2トラップ/地点

** 調査地点変更のため平均値の計算から除外(セル内灰色)。

調査方法：10月7、8日にベニヤ板トラップ(4層)を各地点に設置。地点あたり2トラップ、ベニヤ板間の隙間は5mm。
12月2、3日にトラップを回収後、トラップあたりのクサギカメムシ越冬個体数を調査。

変更・改良点

- ① 平成25年度、調査方法の変更、新：ベニヤ板トラップ(隙間サイズ3mm)、旧：簡易小屋トラップ
- ② 平成26年度、隙間サイズ5mm及び6mmを追加
- ③ 平成27年度、隙間サイズ3mmは捕獲数が少なく、5mm及び6mmのデータを記載。
- ④ 平成28年度、隙間サイズ5mmに統一。八頭町、倉吉市、琴浦町は調査地点を変更。
- ⑤ 平成29年度、調査地点に倉吉市を追加。
- ⑥ 平成30年度以降、変更なし。

2. 防除上注意すべき事項

- (1) クサギカメムシは、果樹園内の作業小屋などで越冬しているため、休眠期の防除対策として、3月までに小屋を清掃し、越冬成虫を捕殺しておく。
- (2) 例年発生が多い園では、4月以降、定期的には場を見回るなどして、春先の発生程度の把握に努める。